

～「うずしおくん」と「うずひめちゃん」の鳴門めぐり～

鳴門市営バスと岡崎渡船の巻



今日は、平成25年3月31日で、バス事業から撤退する、鳴門市営バスの見学にやってきました。

2人とも、ここにきたのは、はじめて。「何があるのかな？」

車庫には、市営バスが並んでいて、こんなに、多くのバスを一度に見るのは、はじめてです。

「今までありがとう！」とメッセージを伝える2人。





バスの洗車機にはいってみました。
「やっぱり大きいなあ」
「市営バスは、この機械でいつもきれいに洗われていたのね。」
「ぼくたちも、ちょっと洗われてみたいかも？」

好奇心いっぱいの2人は、
あちこちを、見にいきます。



やっぱりバスと記念写真！
「いい思い出だね。」
「でも、せっかくだから、バスに乗りたいな」
「うん。乗ってみよう」



バスにはじめて乗った「うずひめちゃん」
は、大喜び。
でも、実は頭が、バスの天井について
しまって・・・。
「どうしよう・・・」

思ったより、2人とも身長が
高かったようです。





2人でも乗れる、ノンステップバス
を紹介してもらいました。

「岡崎」まで、乗っていくことに。
「やったー!!!」

バスから見る、まちの風景は、
何か違って見えます。

乗り心地も、とても快適。

「もっと前から、乗ってたらよかったね。」



「もうすぐ、お別れなんて、
さみしいな」



「運転手さん。乗せてくれて、ありがとう。」



お客様をお見送り。
「ご乗車、ありがとうございます。」



お客さんの様子をまねて、降車ボタンを
押したうずしおくん。
すごく、得意げです。

でも、
うずひめちゃんも、押したかったんだよ。

「岡崎」のバス停で降りて、さて、
どうしよう。

「お天気がいいから、少し歩いてみようか。
メタボ解消のために……」

と、がんばって、少し歩いてみることにした
2人。



ひとつ分、バス停を
戻ったところで、
船を見つけました。

さっそく、記念写真。

「これって、なに？」
「ひめちゃん知らないの。
渡船って行って、これに
乗れば、向こう岸に
無料で、渡れるんだよ。」
「えっ。乗りたい！」



ちょうど、出港の時間が来たので、ほかのお客さんといっしょに、岡崎渡船に、乗せてもらいました。2人とも、渡船に乗るのは、はじめてです。

はじめて乗る渡船に、うずしおくんは、うずひめちゃんをおいて、ひとりで、見学に夢中です。



乗りたいとは言ったけれど、実は、はじめて乗る船に、ドキドキしていたうずひめちゃんなのに、うずしおくんは、そばを離れていきます。

うずしおくんに、おいていかれてしょんぼりする、うずひめちゃんにやっとながつく、うずしおくん。

「ごめんね。ひめちゃん・・・。」





「この渡船は、どこに行くの？」
「岡崎と土佐泊を結んでいるんだよ」

「人だけじゃなくて、自転車も
いっしょに乗ってるから、
びっくりしちゃった」
「車に乗らない人たちには、とっても
大切な交通手段なんだよ」

市のマスコットキャラクターとして
先輩のうずしおくんは、
うずみめちゃんの質問に、やさしく
答えてあげて、無事仲直り。

景色も、とてもすてきです。

「渡船って、意外と、速いね！」
「すごく早く、向こう岸に着いて、
びっくり。渡船って便利だね」



「乗せてもらって、良かったね」
「うん。鳴門には、バスのほかに、こんな交通手段
もあるんだね」
2人にとって、勉強になった1日でした。

今日は、3月31日でお別れする鳴門市営バスを見学し、岡崎までバスに乗ってきました。バスを降りた後は、岡崎渡船にも乗ってきました。

市営バスとはお別れだと思うと、すごくさみしい気持ちになって、2人でしばらく車庫に並ぶバスを見つめてしまいました。

「64年間、本当にありがとう！ お世話になりました。」

